

# 基本方針の全体構成の新旧

旧	新	変更の考え方
前文	前文	○我が国が直面する課題・問題意識等を踏まえ、全面的に書き換え
<b>I 今後の港湾の進むべき方向</b> 1 産業の国際競争力と国民生活を支える物流体系の構築 2 国民の安全・安心の確保への貢献 3 良好な港湾環境の形成 4 活力のある美しい港湾空間の創造と適正な管理 5 クルーズ船の受入れの促進 6 新たな海洋立国の実現に向けた海洋政策の推進 7 ストック型社会に対応した効率的・効果的な事業の実施	<b>I 港湾の開発、利用及び保全の方向に関する事項</b> 1 特に戦略的に取り組む事項 (1) 我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築 (2) 観光立国に資するとともに地域の自律的・持続的な発展を支える港湾機能の強化と空間形成 (3) 国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保 (4) 時代の変化に対応し生産性の高い港湾行政の推進 2 引き続き重点的に取り組む事項	○我が国が直面する課題・問題意識を踏まえ、「1 特に戦略的に取り組む事項」と「2 引き続き重点的に取り組む事項」の2つに分け、施策体系を全面的に再構築 ○港湾局に関する施策を網羅的に列記
<b>II 港湾機能の拠点的な配置と能力の強化</b> 1 港湾取扱貨物の見通し 2 国際海上コンテナ輸送網の拠点 3 バルク貨物等の輸送の拠点 4 複合一貫輸送網の拠点 5 地域の自立的発展を支える海上輸送網の拠点 6 船舶の安全な避難機能を担う拠点 7 大規模地震対策施設	<b>II 港湾の配置、機能及び能力に関する基本的な事項</b> 1 特に戦略的に取り組む事項 2 引き続き重点的に取り組む事項	○「港湾取扱貨物の見通し」は削除 ○港湾の開発、利用及び保全の方向を踏まえた港湾の配置、機能及び能力のあり方を記載
<b>III 海上交通の安全性、効率性を支える開発保全航路</b> 1 開発保全航路の開発、保全及び管理の方向 2 開発保全航路の配置	<b>III 開発保全航路の配置その他開発に関する基本的な事項</b> 1 海上交通の安全性、効率性を支える開発保全航路等の開発、保全及び管理の方向 2 開発保全航路の配置	○港湾区域外に配置される、開発保全航路及び緊急確保航路について、平常時及び災害時における役割並びに開発、保全及び管理の方向を記載
<b>IV 良好な港湾・海洋環境の形成及び循環型社会への対応</b> 1 自然環境の積極的な保全 2 多様化する環境問題への対応 3 環境の保全の効果的かつ着実な推進	<b>IV 港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に際し配慮すべき環境の保全に関する基本的な事項</b> 1 自然環境の積極的な保全 2 多様化する環境問題への対応 3 環境の保全の効果的かつ着実な推進	○港湾、開発保全航路の開発等に際し、配慮すべき環境の保全に関する内容を主として記載
<b>V 港湾相互間の連携の確保</b> 1 港湾相互間の連携に関する観点 2 各地域における港湾相互間の連携 3 広域的な港湾相互間の連携	<b>V 港湾の開発、利用及び保全に際し特に考慮する基本的な事項</b> 1 経済的、自然的又は社会的な観点からみて密接な関係を有する港湾相互間の連携の確保に関する基本的な事項 (1) 港湾相互間の連携に関する視点 (2) 広域的な港湾相互間の連携	○旧 V、VI、VII章を集約 1 一つの経済圏/生活圏/海域における港湾相互間の連携の考え方を明示 ・旧「2 各地域における港湾相互間の連携」については、集約した上で、新「(2) 広域的な港湾相互間の連携」に記載
<b>VI 官民の連携による港湾の効果的な利用</b>	2 官民の連携による港湾の効果的な利用に関する基本的な事項 (1) バルク貨物等の輸送網の拠点となる港湾 (2) クルーズ船の受入拠点となる港湾	2 官民の連携による港湾の効果的な利用に関する内容を集約(バルク戦略港湾、クルーズ拠点港)
<b>VII 港湾の効率的な運営</b> 1 民間能力の活用による港湾運営の効率化 2 港湾の効率的な運営を支える協働体制の構築	3 民間の能力を活用した港湾の運営その他の港湾の効率的な運営に関する基本的な事項 (1) 民間の能力の活用による港湾運営の効率化 (2) 港湾の効率的な運営を支える協働体制の構築	3 国策として進める国際コンテナ戦略港湾におけるターミナルの運営について記載

別紙参照

# 第 I 章の施策体系の新旧

旧	新	変更の考え方
<p>1 産業の国際競争力と国民生活を支える物流体系の構築</p> <p>(1) 海上輸送網の基盤の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国際海上コンテナ輸送網の強化</li> <li>② バルク貨物等の輸送網の強化</li> <li>③ 複合一貫輸送網の強化</li> <li>④ 港湾を核とした静脈物流網の強化</li> <li>⑤ 地域の暮らしを支える機能の確保</li> <li>⑥ 港湾を核としたシームレスな物流網の形成</li> </ol> <p>(2) 臨海部の産業立地・活動環境の向上</p> <p>(3) 港湾における情報化の推進</p> <p>(4) 船舶航行等の安全の確保と効率性の向上</p> <p>2 国民の安全・安心の確保への貢献</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 災害に強い港湾の構築</li> <li>② 国土の保全への配慮</li> <li>③ 危険物取扱いへの配慮</li> <li>④ 港湾保安対策の推進</li> </ol> <p>3 良好な港湾環境の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 良好な自然環境の積極的な保全</li> <li>② 地球温暖化防止への対応</li> </ol> <p>4 活力のある美しい港湾空間の創造と適正な管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の活力を支える物流、産業空間の形成</li> <li>② 美しく・文化性に富んだ親しまれる港湾空間の形成</li> <li>③ 観光や海洋レクリエーションを核とした交流空間の形成</li> <li>④ 健全な都市活動への貢献</li> <li>⑤ 港湾空間の再編</li> <li>⑥ 港湾空間の適正な管理</li> <li>⑦ 将来の情勢変化への対応</li> </ol> <p>5 クルーズ船の受入れの促進</p> <p>6 新たな海洋立国の実現に向けた海洋政策の推進</p> <p>7 スtock型社会に対応した効率的・効果的な事業の実施</p> <p>(1) 効率的・効果的な事業の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 総合的な施策の推進</li> <li>② 投資の効率化</li> <li>③ 透明性の向上</li> <li>④ 港湾の開発等におけるリサイクルの推進</li> <li>⑤ 地域との連携</li> <li>⑥ 港湾施設の適切な維持管理</li> <li>⑦ 港湾施設の有効活用</li> </ol> <p>(2) 技術開発の推進と成果の活用</p>	<p><b>1 特に戦略的に取り組む事項</b></p> <p><b>(1) 我が国の産業と国民生活を支える海上輸送網の構築</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① グローバルバリューチェーンを支える国際海上輸送網の構築</li> <li>② 資源エネルギーの安定確保を支える国際海上輸送網の構築</li> <li>③ 将来にわたり国内物流を安定的に支えるための国内複合一貫輸送網の構築</li> </ol> <p><b>(2) 観光立国に資するとともに地域の自律的・持続的な発展を支える港湾機能の強化と空間形成</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 観光を我が国の経済成長につなげるクルーズ機能の強化</li> <li>② 観光振興、にぎわい創出に資する港湾空間の利活用</li> <li>③ 我が国や地域の基幹産業・地場産業を支える物流機能の強化と港湾空間の形成</li> <li>④ 再生可能エネルギーの利用促進、低炭素化に資する港湾空間の利活用</li> </ol> <p><b>(3) 国民の安全・安心を支える港湾機能・海上輸送機能の確保</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 災害から国民の生命・財産を守り、産業活動を維持する港湾・輸送体系の構築</li> <li>② 船舶航行の安全の確保と効率性の向上</li> </ol> <p><b>(4) 時代の変化に対応し生産性の高い港湾行政の推進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 港湾の完全電子化と利活用の推進によるサイバーポートの実現</li> <li>② 持続可能な港湾開発等のための港湾関連技術の生産性向上や働き方改革の推進</li> </ol> <p><b>2 引き続き重点的に取り組む事項</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の暮らし・安心を支える港湾機能の確保</li> <li>② あらゆる人に優しい港湾の実現</li> <li>③ 良好な港湾環境の保全・再生・創造</li> <li>④ 循環型社会のより一層の進展とグローバル化に対応した静脈物流網の強化</li> <li>⑤ 国土の保全への配慮</li> <li>⑥ 危険物取扱いに係る防災・減災への配慮</li> <li>⑦ 国際海上輸送の信頼と安全を確保する港湾保安対策の推進</li> <li>⑧ 新たな海洋立国の実現に向けた海洋政策の推進</li> <li>⑨ 港湾空間に求められる多様な要請への対応と港湾空間の適正管理</li> <li>⑩ スtockの有効活用、機能の集約化・複合化</li> </ol>	<p>○海上物流網の構築に関する施策を網羅的に記載</p> <p>○ターミナル背後で付加価値を創造するロジスティクスセンター等についても記載</p> <p>○クルーズ政策とクルーズ船の寄港増加を受けた港湾空間の再編の必要性について記載</p> <p>○港湾空間等における洋上風力発電の導入促進について記載</p> <p>○災害対策と船舶航行の安全性確保等について記載</p> <p>○自動航行船舶への対応も記載</p> <p>○港湾の電子化、働き方改革等の港湾行政の進め方の変革について記載</p> <p>○離島航路、バリアフリー、環境保全、海岸行政、保安対策等の従来から重点的に行っている施策を列記</p>